

◆年末年始 恒例祭のご案内

○大祓式・歳晚祭・天皇壽祭

十二月二十三日 午後二時

半年に一度個々の罪穢れを形代で祓うと共に一年の御加護に感謝を捧げます。※参列自由ですが、出来ない場合は、神社よりお配りした形代(人形)にて各自お祓いをし、清々しく新年をお迎え下さい。(お正月様袋に同封)

○元旦祭・家内安全特別合同大祈願祭

併せて、初日をお祈り

一月一日 午前六時半

新年を言祝ぎ、皇室並びに国家の弥栄、氏子崇敬者の平安と幸福を祈念します。※どなたでも参列出来ますので、希望者は十五分前までお越し下さい

○暖まり・小正月(女正月)

一月十五日(水) 午前零時

厄落しの行事が各地であり、当社でも古よりこの日に厄祓をする習わし。古いお神札などを清浄な火でお焚き上げし、御神火に無病息災を祈ります。

○役目を終えた人形等をお預りします

◆御祈禱のご案内

○新年家族並個人及団体祈禱

一月一日 午前零時〜午後五時

家内安全、厄除、商売繁盛、合格祈願等 ※ 随時御奉仕しておりますがお受け出来ない時間(午前九時〜十時)も

ありますので事前にご連絡下さい ※ 元旦午前十時〜午後三時までには兼務社出向の為、宮司不在につき、川崎の佐藤神主様に祈禱をお願いしておりますので申し添えます。

二日以後は通常通り予約制にて午前九時〜午後四時頃まで毎日行います

○年末年始 神棚祭・氏神祭・家祓等

【要予約】

平成二十六年厄年表

お早めにお祓いをお受け下さい

※ 上・生まれ年/下・教え年

	前厄	本厄	後厄
男性	平3年 24歳 昭49年 41歳 昭30年 60歳	平2年 25歳 昭48年 42歳 昭29年 61歳	平元年 26歳 昭47年 43歳 昭28年 62歳
女性	平9年 18歳 昭58年 32歳 昭54年 36歳	平8年 19歳 昭57年 33歳 昭53年 37歳	平7年 20歳 昭56年 34歳 昭52年 38歳

例大祭のお知らせ

平成二十六年の例大祭は、四月十二日(土)に神輿渡御、十三日(日)に奉祝行事を行いたいと思います。

【注意】

十二月はじめから一月中旬まで、神社の裏参道(市道)の一部の拡幅工事(側溝設置)が行われており、工事中は通行止めになり中沖方面から迂回となる。ただし、年末年始は通行可能となる。

編集後記

新年は午年、飛躍の年とするべき年。その為に蛇年で自ら脱皮をしなくては。

坪沼八幡神社報

奉祝 伊勢神宮式年遷宮



天照大御神の御遷りを待つ直前の真新しい御正宮

坪沼八幡神社報 第十号
発行所 坪沼八幡神社事務所
代表者 宮司 高山晃和
仙台市太白区坪沼字藤前六十九
電話 二八一―一五八九 FAX 〇六五一

伊勢神宮式年遷宮をお祝いし

今年、日本の総氏神様と仰がれる伊勢の神宮において、第六十二回式年遷宮を迎え、十月には遷御の儀が執り行われた。奇しくも世情に沿うように二十年毎に行われ、皇室第一の重儀・我が国最大のお祭であり、御正宮をはじめとする数多くの御宮や御装束神宝などを新しくし、その新宮に神様を御遷し申し上げる神事である。持統天皇の御代に始められてより千三百年間にわたり連綿と続けられ、御創建当時の姿をそのままに、常に若々しく在り続ける神宮。建築技法や伝統技術の継承とともに、常に瑞々しい神気によって、永遠を願うという常若の思想が息づいている。天照皇大神様の「清く・正しく・むつまじく世を作りなさい」との教えによって、日本の根幹が築かれとって過言ではない。神宮は私事とは別次元の、素直な感謝の誠を捧げる所、今年多くの国民が参拝したが、その姿に伊勢の神宮を尊ぶ日本民族

一月の行事(予定)

○三日 節分祭

福豆をお配り致しますので各戸で元氣よく豆まきをして下さい

○十一日 紀元節祭・奉祝国民大会

神社では日本の建国を奉祝し建国祭を執り行い、その後市内中心部で行われる祝賀式典に参加します。

○十七日頃 祈年祭 (第一回祭典会議)

収穫を祈る大祭で新嘗祭とともに全国の神社で行われる重儀

の変わらない精神を感じる事が出来た。そして、この大事業は全国津々浦々の神社が中心となつて国民総奉賛のもとに成し遂げられたが、当社に於いても氏子崇敬者の御理解を戴き、平成二十三年度に式年遷宮の御奉賛を申し上げることが出来た。改めて感謝を申し上げます。また今年八月、完成間近の御正宮の御敷地にお白石を奉献する四十名の奉仕団を組織し、二泊三日の参拝旅行を実施し、感謝の誠を捧げ地域の安寧を願った。神宮は私たち日本人の心の拠りどころであり、その敬う心が各家々の神棚祀りにも繋がっている。国民の一人として自覚を持ち、大神様の御加護を頂いていることに感謝しながら生活を営むことが、今の世こそ大切ではないだろうか。そして御神威の蘇りが日本の再生に繋がることを祈つてやまない。



お白石持ち奉献団・伊勢神宮宇治橋前

◆ 神の恵みと祖先の恩に感謝しましょう
◆ 初詣は先ず氏神様の坪沼八幡神社へ
◆ 一・十五日は神社へお参りしましょう
◆ 東日本大震災被災神社への義援金受付中

年間行事 『披露』
元旦祭・初日を拝む会

元旦の早朝より、氏子崇敬者が参集し、恒例となった新年の合同家内安全祈願祭が斎行された。祭儀後には今年も天候に恵まれて美しい御来光を拝むことが出来た。



お山からの初日の出

一月十五日早朝、伝統のどんと祭が行われ、正月飾りなどをお焚き上げした。続いて、御神火と一緒に焚き上げられないことから始まり三年目となる、人形感謝祭を斎行し、皆さんからお預りした沢山の粗末に出来ない古い人形やぬいぐるみなどの供養・みたま抜きを行った。



人形感謝祭の様子

例大祭斎行

四月十五日、例大祭が斎行された。それに先立ち十三日の土曜日には、午前十時の神幸祭に続き、根添区の担ぎ番で夜七時のお山入りまで、勇壮な神輿渡御が行われ、坪沼をきれなく練り歩いた。根添地区は戸数が少ないことから、今年より協力会や、女性も加わり地域内外の有志の力を結集して行われた。子供みこも小学校まで同行し、親子皆で協力し元氣よくまわる事が出来た。各御旅所では、伝統の祭囃子が演奏され、小学生の巫女さん達も春休みに練習してきた浦安の舞を各所で一生懸命奉奏。今年の神輿渡御も大勢の供奉する人達や迎える人々の協力で、伝統のままに滞りなくお山入りとなった。



勇壮な神輿のお山入り

境内では午後六時頃より御神樂が奉納され、出店も出て夜遅くまで賑わった。

次いで十四日の日曜日、奉祝祭として午前十一時より神事が執り行われ、氏子関係各位をはじめ遠近より

崇敬者が集い斎行され、祭儀終了後は女神婦人部の協力を得て直会が行われた。



坪沼祭囃子の演奏

午後よりは、奉納行事で少年少女剣道大会、続いて演芸大会が行われ、まず保存会と子供たちによる祭囃子が演奏され、続いて、雅楽の演奏、カラオケ大会・加藤八郎歌謡ショー、特別ゲストの吉川団十郎氏が花を添え、最後は豪華景品の当たる福引大会で盛り上った。両日とも協力会が模擬店の出店などで緑日を盛り上げた。お祭り期間中は天候にも恵まれ、一同は楽しいお祭りを満喫した。



宮城野雅楽会による演奏

夏越大成式意行

一年の半ばの六月三十日(日)午後三時より「夏越の大祓」が斎行された。参列者は、境内に設けられた祓所に於いて、「形代祓」と「茅の輪くぐり」を行い心身の罪・穢れの一切を祓い清めた。尚、予めお預かりした人形は、身代りにお祓いを受けた後、大海原に流された。終わりに、婦人部の協力により直会を行い、互いに残る半年の無病息災を祈った。



形代祓を行う様子

次回の大祓は「年越の大祓」として行われるので、新年をすがすがしくお迎え頂くよう気軽に参加頂きたい。

第二十五回「堂と平家琵琶の夕べ」開催

ふるさと坪沼実行委員会主催
六月二十九日(土)午後六時過ぎより神社境内で二十五回目となった坪沼の夏の風物詩「堂と平家琵琶の夕べ」が開催され、千名を超す人々が演奏やや蛸狩りを楽しんだ。



平家琵琶伝承者・後藤光樹先生

新嘗祭斎行

十一月二十三日の勤労感謝の日午後二時より、収穫を感謝する恒例の新嘗祭が総代・若長ら参列のもと厳粛に斎行された。氏子より奉納された新穀などが当日御神前に献納され、終了後の直会では、神社協力会とふるさと坪沼実行委員会、そして婦人部役員をはじめ、神社に協力頂いたみなで芋煮を食し収穫を祝った。穀物の豊穰と産業の発展を祈る二月の祈年祭と並ぶ大祭として全国の神社でも執り行われる最も重要な祭儀である。

奉納・奉仕の報告

四月の例大祭の前に、鎮守の森の象徴・赤鳥居が、小林善信殿、一家と関係各位の奉仕により、朱も鮮やかに塗り替えられた。また駐車場のライン引きが協力会有志によつて行われ、整然と四十八台が止められるようになった。その他にも例年のごとく季節毎の清掃や奉仕作業をはじめ様々な御奉仕御奉納を戴いたが、紙面の関係上掲載出来ず容赦を願いたい。



神輿のお山入りを迎える赤鳥居

敬神婦人部により

宮城県の敬神婦人連合会総会が七月、護国神社を会場に開催され、佐藤つや子会長をはじめ大勢参加した。



護国神社前で笑顔の集合写真

坪沼写真コンテスト開催

やるつちやツボヌマにおいて、今年第一回目としてはじめられ、地域の行事や風景写真などを一般募集し、十一月優秀作品が決定、表彰した。神社も共催している。



最優秀「笑顔でわっしょい！」

地域誌「おいで物語」刊行

今年四月、生田・茂庭台両連合町内会の事業で、坪沼を含めた生田地域の歴史や文化をはじめ、地域の魅力を一冊にまとめた「おいで物語」が発刊された。小職も関わらせて頂いたが、郷土愛を育む貴重なものとなったので、一読をお勧めする。神社においても千二百円で販売している。

